

NEWS INFORMATION TOPICS COMMUNICATION

長崎県日中親善協議会

NEWS

第

71

卷

発行 / 2015年(平成27年)3月
長崎県日中親善協議会



孫文と梅屋庄吉・トク夫妻像の
前にて
松が枝国際観光船ふ頭緑地 (長崎市松が枝町)

新日中友好21世紀委員会 長崎意見交換会開催

《 2014年(平成26年)6月5日(木)~6日(金) 》



新日中友好21世紀委員会 長崎意見交換会開催



2014年(平成26年)6月5日(木)及び6日(金)、新日中友好21世紀委員会長崎意見交換会が長崎市において開催されました。



〈日本側委員〉



〈中国側委員〉

会合では、現在の日中関係の懸案について議論し、緊張緩和と事態の安定に向けた方策、現在の情勢下で民間が果たすべき役割等について、率直な意見交換が行われました。

〈主な日程〉

- 6月4日(水)
日本側主催歓迎夕食会
- 6月5日(木)
開幕セッション：両座長による基調講演
第1セッション～第3セッション
長崎県知事、長崎市長との会見
長崎県主催歓迎夕食会
- 6月6日(金)
第3セッション（5日の続き）
閉幕セッション：両座長による総括発言
中国側答礼宴
長崎県による地方セミナー
長崎大学におけるキャンパス・セミナー
- 6月7日(土)
長崎市内視察

●新日中友好21世紀委員会とは？

21世紀における日中関係を一層発展させていくため、日中双方の有識者が、政治、文化、科学技術等の幅広い分野に関して議論し、両国政府首脳に提言・報告を行う委員会です。



唐座長（左から2番目）や程中国駐日大使（左端）らと意見を交わす中村法道知事

6月5日(木)、中村知事は、日本側座長の西室泰三日本郵政社長や中国側座長の唐家璇中日友好協会会長らと会見し、「長崎県と中国は一衣帯水。今回の委員会が、両国の友好と信頼の絆が深まる契機になることを期待する」とあいさつしました。唐座長は、「長崎が日中友好の最前線に立っていることに敬意を表する」と述べられ、日中交流のゆかりの深い本県で委員会が開催されることの意義を高く評価されました。



キャンパス・セミナー開催（長崎大学）



長崎平和公園 乙女の像

6月6日(金)には、委員会の関連行事として、本県と中国との交流の歴史や現在の取り組みを紹介する長崎県地方セミナーが開催されたほか、長崎大学では、キャンパス・セミナーが開催され、委員会の各委員と学生との意見交換が行われました。

翌7日(土)には、「長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム」「長崎平和公園乙女の像」など、長崎と中国のゆかりの地の視察が行われました。



中国駐長崎総領事館



長崎孔子廟中国歴代博物館
「十里の花嫁行列ー中国婚礼装束と家財道具の文物展」開幕式

〈参加委員〉 ○日本側 西室泰三 株式会社東芝相談役、日本郵政社長(日本側座長)
毛利 衛 日本科学未来館館長、宇宙飛行士
浅田次郎 作家、日本ペンクラブ会長
国谷裕子 キャスター
高原明生 東京大学大学院法学政治学研究科教授
中西 寛 京都大学大学院法学研究科教授

○中国側 唐家璇 中日友好協会会長、元国務委員(中国側座長)
鉄 凝 中国作家協会主席
葉小文 中央社会主義学院副院長
周明偉 中国外文出版發行事業局局長
章新勝 中国教育国際交流協会会長
陳 健 元駐日大使、前国連事務次長
王泰平 元駐大阪総領事(大使)
劉江永 清華大学教授

〈その他の来県者〉

伊原純一 外務省アジア大洋州局長
程永華 中国駐日本国特命全権大使
熊波 中国外交部アジア局次長
植野篤志 外務省アジア大洋州局中国・モンゴル第一課長 ほか

日中「孫文・梅屋庄吉」塾

一般の部

2015年(平成27年)3月2日(月)から6日(金)にかけて、日中「孫文・梅屋庄吉」塾(一般の部)が開催され、長崎県内の大学生19名、中国(福建省、上海市、湖北省)の大学生20名が参加し、交流を深めました。



●日中「孫文・梅屋庄吉」塾とは？

長崎県内の大学生と中国の大学生が、孫文と梅屋庄吉の国境を越えた厚い友情や長崎県と中国との交流の歴史を学び、今後の日中交流のあり方等について意見交換を行います。

塾を通して、互いの文化などの相互理解を深め、今後の長崎県と中国との交流の懸け橋となる人材の育成を目的にしています。

〈主な日程〉

- 3月2日(月)来県(集合)
開講式
記念講演会
(講師:東洋学園大学教授 朱建榮 氏)
歓迎交流会
- 3月3日(火)
孫文と梅屋庄吉の友情に関するミニ講演会
(講師:日比谷松本楼代表取締役副社長 小坂文乃 氏)
グループ討議①
長崎市内視察
(長崎孔子廟中国歴代博物館)
(長崎歴史文化博物館)
(長崎ランタンフェスティバル)
- 3月4日(水)
長崎と中国の交流に関するミニ講演会
(講師:中国駐長崎総領事 鄧偉 氏)
長崎平和公園視察(乙女の像)
グループ討議②
民泊体験(南島原市)
- 3月5日(木)
農林漁業体験(南島原市)
グループ討議③、グループ発表、全体討議
修了式
- 3月6日(金)帰国(解散)



中国駐長崎総領事館



長崎平和公園 乙女の像



民泊体験(南島原市)

塾の修了後には、塾生の同窓会の設置が決まるなど、塾での交流が、今後末永く、大きく広がっていくことを期待しています。

高校生の部（県内高校生の武漢市訪問）

2014年(平成26年)7月27日(日)、湖北省武漢市において、長崎県と湖北省との共催により、日中「孫文・梅屋庄吉」塾を開催し、本県の高校生と湖北省武漢市の高校生が交流を深めました。

7月26日(土)に、上海で中国語研修中の本県高校生19名が武漢市へ移動。洪山高級中学（※高級中学は日本の高校に相当）の生徒と日中高校生のペアを組み、ペアの相手宅でホームステイ（1泊）を実施。そして、翌27日(日)の日中交流情報交換会(会場:辛亥革命博物館)において、ペアごとに練習したダンスやクイズなどの出し物を中国語で披露し、交流を深めました。



日中交流情報交換会での出し物披露



ホームステイの様子

高校生の部（湖北省高校生の本県訪問）

2014年(平成26年)8月19日(火)から22日(金)にかけて、湖北省から高校生16名が来県し、梅屋庄吉の妻トクの故郷である壱岐市を訪問しました。壱岐市では、長崎県立壱岐高等学校の生徒と交流を行い、国際的な視野を広めるとともに、日中青少年による相互理解を深めました。



長崎県立壱岐高等学校生徒との記念撮影



学生交流の様子

「長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム」が開館！

2014年(平成26年)4月26日(土)、長崎県と長崎市が共同で整備を進めてきた「長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム」が開館しました。このミュージアムは、香港上海銀行長崎支店の紹介や長崎が日本の近代化に果たした役割、孫文と梅屋庄吉との間に生まれた国境を越えた厚い友情とその功績を一覧できる施設として、県民、市民はもちろんのこと、海外からも広く親しんでいただけるような施設を目指してまいります。開館式典には、梅屋庄吉・トク夫妻の曾孫である小坂文乃様、李文亮中国駐長崎総領事、ジョナサン・チョイ香港中華総商会名誉会長、呉月霞広東省中山市副市长、本県選出国會議員及び県議會議員の皆様など総勢 150 名の方に出席いただきました。



【主催者挨拶】 中村法道知事



列席者による集合写真

また、同日には盛大に記念レセプションが開催され、辛亥革命 100 周年を記念して 2011 年 10 月に寄贈いただいていた「孫文と梅屋庄吉・トク夫妻像」のマケット（銅像の原型）を王洪志南京市油画彫塑院長から寄贈いただき、その除幕式も執り行われました。



出席者による鏡割りの様子



披露された孫文と梅屋庄吉・トク夫妻像マケット

さらに、開館記念の講演会も開催され、東京大学大学院の川島真准教授が「長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉」と題して、講演されました。



講演会の様子



講演される川島真准教授

中国東方航空幹部長崎県訪問

2014年(平成26年)11月14日(金)から16日(日)まで、長崎 - 上海航空路線の就航35周年を記念して、董波経営総監をはじめとする中国東方航空の4名が来県され、中村知事及び渡辺県議会議長を表敬訪問されました。中村知事は、「上海航空路は長崎と中国にはなくてはならない交流基盤。皆さんと力を合わせて育てていきたい。」と話し、董波経営総監は、「日本の報道で大気汚染問題が報じられていると思うが、中国は幅が広く、空気がきれいなところもあるので、県民に紹介してほしい。」と長崎県民の訪中を呼びかけました。

同日夜には「中国東方航空長崎 - 上海線就航35周年記念レセプション」が開催され、県内の自治体や経済界などから関係者約100名が参加しました。レセプションでは、地元の団体による中国獅子舞や龍踊が披露されるなど、改めて長崎と中国の深い関わりを確認し合う機会となりました。

今後も、関係機関の皆様と連携を図りながら、長崎 - 上海線の維持に努めてまいります。



董波経営総監(中央) 中村法道知事(右)



〔中国東方航空長崎 - 上海線就航 35 周年記念レセプション風景〕

りぶんりょう
李文亮

中華人民共和国駐長崎総領事離任

2014年(平成26年)10月28日(火)に、中華人民共和国駐長崎総領事館の第8代総領事、李文亮総領事が離任されました。

李文亮総領事には、2010年6月にご着任されて以来、4年4ヶ月の間、長崎県と中国の交流の懸け橋として格別のお力添えを賜りました。

ご在任中のご支援・ご協力に対し厚くお礼を申し上げますとともに、今後のご健勝とご活躍をお祈りいたします。



とうい
鄧偉

中華人民共和国駐長崎総領事着任

2014年(平成26年)11月15日(土)に、中華人民共和国駐長崎総領事館の第9代総領事として、鄧偉総領事が着任されました。

中村知事への着任挨拶では「中国と長崎の関係がより一層発展できるように、県と協力しながら、今まで以上に努力していきたい」と抱負を述べられました。

2015年(平成27年)1月8日(木)には、歓迎会が開催され、政財界等の関係者約300名が出席しました。



鄧偉総領事(左)と中村法道知事

〈鄧偉総領事の略歴〉

- 【生年月】 1964年10月
- 【出身大学】 北京外国語大学
- 【主要経歴】 1986年～1989年 外交部アジア局事務官
- 1989年～1992年 外交部新聞局事務官、アタッシェ
- 1992年～1996年 中国駐日大使館アタッシェ、三等書記官
- 1996年～2005年 外交部新聞局三等書記官、二等書記官、副課長、課長
- 2005年～2007年 中国駐大阪総領事館領事、副総領事
- 2007年～2012年 中国駐日大使館参事官(報道担当)
- 2012年～2014年 吉林省外事弁公室副主任
- 2014年11月～ 中国駐長崎総領事

中華人民共和国駐日本国大使館との友好交流会

2015年(平成27年)1月26日(月)、中華人民共和国駐日本国大使館において、同大使館、長崎県及び長崎県日中親善協議会の共催により、友好交流会を開催しました。

本交流会は全国の自治体でも唯一、長崎県だけが行っているものであり、大使館からは程永華大使をはじめ多くの大使館職員の皆様にご出席いただいたほか、長崎県からも中国と交流のある県内の自治体、経済界、大学関係者など各界の皆様にご出席いただき、懇親を深めました。

程大使からは、「国の交わりは民の相親しむにある。近年、中日関係が厳しい中、長崎県は友好の伝統を堅持し、一連の積極的、実務的交流活動を展開しており、これは得難く貴いことだ。長崎県が今後も友好の伝統を発揚し、両国の友好事業のためより大きな貢献をされるよう心から希望する。」とのお言葉をいただきました。

交流会では、マグロ解体ショーや大使館若手外交官によるバンド演奏も披露され、会場は終始和やかな雰囲気になりました。今後も、大使館の皆様と連携を図りながら、中国との草の根交流の促進に積極的に取り組んでまいります。



交流会前に会談する中村法道知事(左)と程永華大使(右)



程永華大使(左から6番目)を囲んでの記念撮影



大使館若手外交官によるバンド演奏



会場を盛り上げた長崎県五島産マグロの解体ショー

第3回長崎県日中親睦卓球交流大会

2014年(平成26年)11月29日(土)、三菱重工総合体育館において、長崎県日中親睦卓球交流大会を開催しました。本大会は、長崎新華僑華人協会の呼びかけで始まり、今年で3回目となりました。

大会には、中国駐長崎総領事館の鄧偉総領事や館員の皆様を始め、自治体、県内企業、留学生、中高生等約80名が参加し、白熱した試合が繰り広げられ、参加者の皆様は気持ちのいい汗を流しました。



大会の様子



記念撮影

〈結果〉

A(上級の部)
優勝 長崎市役所A
準優勝 新華僑華人A
3位 新華僑華人B

B(中級の部)
優勝 ゆうかり
準優勝 諫早
3位 ホテルニュー長崎A

C(初級の部)
優勝 長崎SST
準優勝 MU
3位 ホテルニュー長崎B

中国からの留学生及び研修員の交歓会

2014年(平成26年)12月14日(日)、長崎県内の中国人留学生及び中国人研修員、当協議会会員、また来賓として、中国駐長崎総領事館の鄧偉総領事を始め、館員の皆様にもご参加いただき、約80名が長崎市内のボウリング場にて、楽しい汗を流しました。

ボウリングでは、鄧偉総領事の始球式に始まり、ボウリングが初めての留学生や、10数年ぶりだという会員の皆様も参加されており、2ゲームは、あっという間に歓喜の声とともに終了いたしました。

ボウリングの後は、会場を移し、おいしい中華料理とビンゴゲームを楽しみました。

参加された皆様、お疲れさまでした！



ボウリング場にて



記念撮影

中国長崎同学会の設立・来県

2014年(平成26年)8月23日(土)、中国長崎同学会(帰国留学生同窓会)の設立総会が上海市で開催され、長崎県内の大学等に留学した上海近郊在住の帰国留学生を中心に121名の会員で発足しました。設立総会後に開催された交流会では、里見副知事ら長崎の産学官の関係者約40人とともに、第二のふるさとである長崎の思い出話で盛り上がりました。

大学の垣根を越えた留学生同窓会の設立は、全国的にもほとんど例は無く、同会には、会員同士の交流促進にとどまらず、長崎の応援団として、長崎の情報発信や長崎と中国との友好の懸け橋としての活躍が期待されます。

早速、2015年(平成27年)2月に、同学会の事業として会員とその家族による4泊5日の長崎再訪ツアーが実施され、2月6日(金)には鄧偉駐長崎中華人民共和国総領事、里見副知事や片峰長崎留学生支援コンソーシアム会長(長崎大学長)ら産学官関係者約50名による歓迎会、2月9日(月)には中村知事への表敬訪問など、長崎と中国の交流の絆を深める取り組みがありました。



知事表敬：同学会会員との記念撮影



設立総会：楊磊会長(左)と里見晋副知事

中国長崎同学会

会長：楊磊(長崎大学留学生OB 上海市在住)

ホームページ：<http://ngs.517japan.com/>

会員数：130名(2015年(平成27年)2月現在)

上海市在住107名、江蘇省、北京市、河南省、山東省、香港の各地区在住の14名、日本在住9名)

2014年上海国際友好都市青少年サマーキャンプ

長崎県では、1996年(平成8年)10月に上海市と友好交流関係を締結し、文化、経済、観光面のほか、青少年の交流など多岐にわたる交流を行っています。本サマーキャンプは国際的な視野を広め、相互理解を深めることを目的に、2010年(平成22年)から毎年夏に行われ、中国語の学習から中国の伝統文化、歌、スポーツ体験にいたるまで様々なプログラムが実施されています。上海の国際友好都市(15～20都市)から、青少年が一同に集まり、交流を深めます。日本からは長崎県のみが参加しています。

《上海国際友好都市青少年サマーキャンプ概要》

主催：上海市教育委員会

日程：2014年(平成26年)7月16日(水)～7月29日(火)

参加者：長崎県立長崎東高等学校(生徒6名)

引率者 金崎 真吾 先生
 1年 井内翔太郎 さん
 1年 石橋沙也香 さん
 1年 高野 敦朴 さん
 1年 津村 麻乃 さん
 1年 津村 梨乃 さん
 1年 平戸 優樹 さん



開幕式の様子

内容：中国語の勉強、中国の伝統文化の体験、雑技の鑑賞等、東方緑舟でのレクリエーション活動、水族館見学、上海市内及び周辺都市の観光、ホームビジット等

「語学力の大切さ」

長崎県立長崎東高等学校1年 **ひらど まさき**
平戸 優樹

私は7月16日(水)から29日(火)までの2週間、上海国際友好都市青少年サマーキャンプに参加しました。初めて外国に行って、今までにないようなすばらしい体験をたくさんすることができました。

まず、上海での生活の上での中国人ボランティアの言語力が高いことに驚きました。中国語はもちろん、日本語、そして英語まで話すことができていました。他の中国人ボランティアも英語と、それぞれ手伝いをする国の言葉を話していました。韓国人の1人には、韓国語、中国語、英語、少しの日本語



東方緑舟にて(本人：写真中央)

を話していました。日本人以外は、最低2つの言語を使うことができていました。中国人の店員なども英語を使っていました。中国の言語力の高さと他の国の高校生にも驚き、自分たちのレベルの低さを実感しました。

また、キャンプでの生活はとても有意義でした。多くのことを学ぶことができ、楽しく会話したり、パーティーをしたりしました。自由時間には、プールやバスケットをしたりして楽しく過ごしました。外国の人たちは、全員がフレンドリーで優しく、ノリが良く、交流が本当に楽しかったです。おかげで、メール交換をしたりして、今でも英語で会話をしており、私のフェイスブックは国際化しました。他の国の文化にも触れることができました。

このキャンプを通して、私は英語をマスターしようと思いました。英語を使うことができれば、友達の輪が広がります。文化も理解できます。それを実感した良い機会でした。このキャンプに参加できたことを嬉しく思うし、このような機会を与えてくださった方々、キャンプでお世話になった人たちに本当に感謝しています。機会があれば、英語を完璧にして、もう一度交流をしたいです。

「上海研修で学んだこと」

長崎県立長崎東高等学校1年 ^{つむら}津村 ^{りの}梨乃

私は今回、自分の英語を試す機会としてこのキャンプに参加することを決めました。

英語がたくさん飛び交って混乱するだろうと思っていましたが、それもつかの間。1日目からたくさんの友達ができ、2週間では足りないほどのたくさんの経験が出来ました。

私が最も実感したのは、日本と世界の語学力の差です。私たちは中国語の授業を実力でA～Eのクラスに分かれて受けましたが、日本人はDクラス。フランスなどの離れた国の人がAクラスで、中国語をペラペラに話せました。

かといって、Eクラスの人自分の国の公用語とは違う言語を話すことができ、2か国語以上話せないのは日本人のみでした。最近英語の授業が増えたからと言ってまだまだ世界に追い付いていないことを実感するとともに、もっと英語力を高めようという気持ちも沸きました。

また私は、自分の心の狭さも実感させられました。周りの視線ばかり考えたり親に反抗したりする私とは全く違って、友だち、彼女、家族、すべてを受け入れる他国のみんな。私は、そんなみんなに自分のあり方を教えてもらったような気がします。

今回のキャンプの中で、私は一度もホームシックになりませんでした。むしろ、ずっとこのメンバーでいたいと思いました。それは、自然な自分でいられるからだと思います。

私はこのキャンプを機に、語学力を高め、広い心を持ち、世界で活躍できるように日々生活していきたいです。



宿舎にて（本人：写真前列右端）

JENESYS2.0 香港高校生訪日団第2陣来県

2015年(平成27年)2月12日(木)、香港から27名の高校生が来県しました。訪日団一行は長崎県内視察をはじめ、長崎県ブリーフィングや長崎県立佐世保北高等学校での学校交流、ホームステイを通じて、日本並びに長崎県への理解を深めました。



長崎県ブリーフィング後の記念撮影



長崎県立佐世保北高等学校での学校交流

「JENESYS2.0」

外務省が実施する青少年の受入・招聘事業。2007年(平成19年)から行われた「JENESYS(21世紀東アジア青少年大交流計画)」の後継事業であり、日本経済の再生に向け、日本に対する潜在的な関心の増進、訪日外国人の増加やクール・ジャパンを含めた日本の強みや魅力等の日本ブランド、日本的な「価値」への国際理解を増進させることを目的としている。

第41回中国人墓地清掃

2014年(平成26年)9月23日(火)秋分の日、当協議会主催で毎年恒例の中国人墓地の清掃を行いました。(稲佐悟真寺国際墓地内)

昭和49年から始まり、今年で41回目を迎えました。当日は、台風接近の中、李文亮中国駐長崎総領事をはじめ、長崎華僑総会、長崎新華僑華人協会、中国人留学生、当協議会会員や高校生、企業、団体など約360名のボランティアの方々に参加していただき、約1時間半の清掃作業に汗を流しました。草に覆われた墓地内も見違えるほどきれいになりました。

当協議会では、今後とも中国人墓地清掃活動を続けていきたいと思っております。どうぞ皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

〈主な参加協力団体〉

中華人民共和国駐長崎総領事館、長崎華僑総会、長崎新華僑華人協会、中国東方航空長崎支店、長崎中国留学学友会、(一財)長崎県地域婦人団体連絡協議会、(一社)長崎青年会議所、長崎女子商業高等学校、九州電力(株)長崎支社、三菱電機企業グループ、(株)十八銀行稲佐支店、長崎ヤクルト(株)、長与町国際交流協会、長崎外国語大学、長崎県立大学シーボルト校、長崎県、長崎市、長崎県日中親善協議会会員(その他、多くの皆様にご協力いただきました。)



墓地清掃風景

第35回長崎県中国語コンクール



2015年(平成27年)2月22日(日)、長崎歴史文化博物館ホールにおいて、第35回長崎県中国語コンクールを実施しました。

本コンクールは、1979年の長崎～上海間定期航空路開設を記念した「長崎県中国語弁論大会」から始まり、1980年から毎年開催しています。当日は、初級の部(課題文朗読)に15名、上級の部(中国語によるスピーチ)に12名、計27名の方が出場し、日頃の学習の成果を競い合いました。

【初級の部】(一般の部および学生の部)

最優秀賞 (一般)西 布美子(長崎市) (学生)大川 伽耶(長崎県立大学シーボルト校2年)
 優秀賞 (一般)広田 伸一(諫早市) (学生)畑 直毅(長崎県立大学佐世保校1年)

【上級の部】

最優秀賞 中村みなお(長崎県立大学シーボルト校4年)
 優秀賞 木戸 紅葉(長崎市)

【敢闘賞】大住 汐里(長崎外国語大学3年)

【特別賞】西岡 美和(長崎県立大学シーボルト校1年)

長崎県中国語講座

当協議会の中国語普及促進事業の一環として開催しているこの講座は、これまで多くの県民の皆様が受講され、中国語の勉強を通じて、隣国に対する理解と関心を深めてきました。

授業は受講者のレベルに応じ、クラスに分かれて開催しており、発音、文法、日常会話、リスニング、文章の読解などを学んでいます。

現在、長崎会場と佐世保会場にて2015年(平成27年度)の講座受講生を募集しております。中国に興味のある方、もう一度中国語にチャレンジしてみたい方など、皆様のご参加をお待ちしております。

長崎会場

開講期間：2015年(平成27年)4月～翌年3月
 開講時間：入 門 毎週土曜日13:00～14:00
 初 級 毎週土曜日14:10～15:30
 中・上級 毎週土曜日15:40～17:00

開講場所：長崎県勤労福祉会館(長崎市桜町)

受講料：半年12,000円

年間24,000円

(※テキスト代実費)

講師：徐 静(じょ しずか)

上海市出身

連絡先：095-895-2087

(長崎県国際課内)



佐世保会場

開講期間：2015年(平成27年)5月～翌年3月
 開講時間：①入 門 毎週木曜日18:30～20:00
 ②初 級 毎週火曜日18:00～19:30
 ③中 級 毎週火曜日19:40～21:00

開講場所：①山澄地区公民館、②、③中央公民館

受講料：①～③年間20,900円、①と②または②と③を受講の場合

年間31,350円

(※テキスト代実費)

講師：趙 麗(ちょう れい)

南京市出身

連絡先：0956-25-9647

(佐世保市国際政策課内)



中国人墓地清掃体験

平成26年度長崎県立大学シーボルト校研修員（華中科技大学外国語学院日本語学科教員） おうじょうか 王浄華

日本では、秋分の時期に入ると、家族そろってお墓参りに行ったり、祖先を供養する「法会」が行われたりします。去年の秋分の日には、私は長崎で違う過ごし方を送りました。

朝7時ごろ、メールの指示通りに、長袖、長ズボンの格好で家を出ました。松山町に着いた時、長崎県日中親善協議会の大坪さんは私を待っていました。一緒に車で目的地稲佐悟真寺国際墓地に向かいました。今日の仕事は中国人墓地清掃です。車の中で、墓地清掃の由来を聞かせてもらって、感動しました。この活動は昭和49年実施以来、41年続き、台風などを除き、一度も中断されたことはありません。

まもなく目的地に到着しました。まだ早いようで、誰も来ていませんでした。そして、敷地内を一周しました。墓地の規模は思ったより大きくて、昔、航海中の死亡者や長崎市内における外国人の死亡者がここに眠っていて、中国人墓地はその大半を占めています。

さすが国際舞台で活躍していた長崎だなあと感じました。草は深く、膝が隠れるほど生えています。なんだか荒廃でさびしい感じがしました。

7時半ごろ、スタッフ全員がそろいました。みんな予定の時間より早めに着きました。そして、仕事の準備です。それぞれのダンボールに形が違う箱がいくつかあって、いろんな道具がきちんと入れてあります。そこから必要なものを机に出して、並べます。トイレ案内の紙も用意されました。各人の担当内容が紙にはっきり書いてあります。私の仕事は個人のボランティアの受付です。団体に対し、すでに人数分の手袋やごみ袋などがセットで用意してあります。

ボランティアの集合時間は9時ごろですが、早めに来た人がいます。受付はまだ始まらないので、彼らは近くで静かに待っています。

8時半ごろ、受付が始まりました。ボランティアたちは私と同じ蚊よけの装束でした。たくさんの方が何度も参加したように見えます。スタッフたちは元気な声であいさつをして、その笑顔が素敵です。私も釣られたように、笑顔を出して元気いっぱいボランティアと対応するようになりました。椅子を用意しましたが、誰も座りませんでした。

受付が終わってから、スタッフ一同と一緒に墓地内に移動し、ドリンク配布の準備をします。丁度李総領事があいさつをしているところでしたが、ボランティアたちはみんな静かに聞いて私語をする人は1人もいませんでした。ドリンクは3種類あって、好きなように選ばせるために3種類のドリンクも手に持ちます。取られた種類のドリンクを手早く補い、次の方に選ばせます。

ドリンク配布が終わって、一緒にいるスタッフはどこかで草刈りに行きましたので、私も自然に草刈りやゴミ袋回収をしました。みんな黙々と墓石周辺や石垣の除草作業を行い、休んだり、世間話をしたりする人は見かけませんでした。回収したごみ袋が道端にきれいに並んで、作業員に「引きかご」で運ばれ、雑草はその場でごみ収集車に積まれ処分できました。すごいなあと舌を巻きました。

だいたい1時間半後、墓地内は見違えるほどきれいになりました。ボランティアたちのおかげで先祖たちは安心して眠っておられるのだらうと思いました。

今回の活動に360人ぐらいのボランティアが参加し、去年より上回ったそうです。私は中日関係が深刻な苦境に陥っている最中に、相変わらず両国友好のために活躍している方々の姿に深く心を打たれました。先人たちが築いてきた絆はこのような活動を通じて強められるにちがいません。また、日本人の仕事ぶりを見習い、大変勉強になりました。みんな余計なことをしないで、心を合わせて仕事を運び、煩雑なことでも、行き届いた計画のおかげで、スムーズに進むようになりました。私は先進国のやり方に感心する一方、細かいところへの配慮という日本人の思いやりにも温かく感じました。

本当に汗いっぱい、感心いっぱい、感謝いっぱいの1日でした。



「人好、地好、山水好」な長崎の思い出(人よし、土地よし、景色よし)

平成26年度長崎県立大学シーボルト校研修員(上海市普陀区投資促進弁公室職員)

劉 静

長崎は日本の最西端、九州の西北部に位置しており、中国へ進出する拠点として非常に有利な場所にあります。国際航空路は上海と定期便で結ばれ、僅か1時間30分ぐらいで到着します。長崎県と上海市は1996年に友好交流関係を樹立して以来、各分野において交流が毎年行っています。長崎県と上海の友好交流は「天の時、地の利、人の和」の三条件(さんじょうけん)を満たしています。

今回長崎県で研修を行うことができたのは、長崎県、長崎県立大学、上海市及び上海普陀区外事弁公室のおかげです。今までに海外での研修を受けることはありませんでしたが、参加させていただき本当に良かったと思います。今回の研修のお陰で、10年ぶりに私はまた学問の殿堂に入りました。大学の授業を受けて、日本の高等教育の姿を見ることができました。学校では、日本語の勉強はもちろん、長崎文化と歴史、日本外交などの授業も受けました。それに、現在中国で担当している投資関係の仕事につなげるために、国際金融、国際経済論、地域経済情報論、現代の企業経営等の経済の授業も受けて、勉強しています。日常授業以外に、指導教官の小原先生のご指導のもと、日本銀行長崎支店、味の素工場、キリンビール工場等の学外見学にも行きました。それに、ミカン狩り、正月体験、卓球大会等中日友好イベントにも積極的に参加しました。休みの日に、長崎の色んな所を散策しました。伊王島、稲佐山、グラバー園、大浦天主堂、ハウステンボス等の長崎の観光名所を訪れました。長崎県美術館、水辺の森公園美しい景色と歴史的、文化的な要素が入り交じり、充実していました。長崎歴史文化博物館等の人文施設にも訪れました。夏の花火大会、お盆、おくんち、長崎さかなまつり、華山まつり等の日本の代表的な風土人情と伝統文化を体験しました。振り返ると、この1年間は、私にとって貴重な経験となり、一生の思い出になりました。綺麗で、友好的で、静寂という長崎の印象は永遠に心に残ることでしょう。

何より、長崎の人々の心温かさが心に残りました。去年の4月の下旬に、長崎に来た時に、初めて異国他郷で生活する私は、言葉や生活習慣等わからないところが多く、とても不安でした。しかし、国際課と長崎県日中親善協議会の皆様、学校の皆様、指導教官の先生、大学の友達、そして見ず知らずの方までもが親切に色々な事を教えてくださったおかげで、心の不安を癒された私は長崎の生活にすぐ慣れることができました。とても感謝しています。



中国からの長崎県海外技術研修員の受入れ

長崎県は、本県と密接な関係のある国から前途有為な青年を受入れ、派遣国の発展に寄与する人材を育成する「長崎県海外技術研修員受入事業」を実施しています。

研修員の皆さんには、単に技術を修得するだけではなく、県内の文化・社会・経済について学んだり、県民の皆さんと交流していただく機会を設けており、将来的には派遣国と本県との友好親善・経済交流を促進する役割も務めていただきたいと思います。

1973年(昭和48年)の事業開始から延べ411名の研修員を受入れており、このうち中国から受入れた研修員は166名です。2014年(平成26年度)は研修員6名のうち、上海市、大連市から計3名の研修員を受入れました(その他の研修員は、ベトナム、ブラジル、ポリビア)。

今後も海外技術協力の一環として、本事業を実施し、研修員を通じて各国との友好交流関係を更に深めてまいります。



平成26年度海外技術研修員の皆さん

「受人滴水之恩、当似湧泉相報」

長崎県アジア・国際政策課主任主事 ついで 筒井 りゅうすけ 竜介

皆さん、こんにちは。私はこれまで計約4年間、中国の北京市、上海市で生活しましたので、中国での仕事や留学生活について紹介させていただきます。

私は2007年から2年間、長崎県からの派遣で北京市の在中国日本国大使館で勤務しました。当初は全く中国語を学習したことがない状態でしたので、仕事や生活で困ることばかりでした。しかしながら、同僚や友人の助けもあって徐々に北京での仕事・生活にも慣れることができ、担当のビザ業務以外にも北京オリンピック時のジャパンハウス内のヘルプデスク設置や4度の総理大臣訪中の事務に関わるなど非常に貴重な体験をすることができました。プライベートでは北京長崎県人会を数人の有志で立ち上げましたが、小規模でアットホームな会で、当時のメンバーとは今でも連絡を取り合っています。



オリンピック閉会式後の打上げで
福原愛選手や関係者の皆さんと

特に印象に残っているのは、2008年8月8日8時8分にオリンピックスタジアム近くで人ごみの中、妻や友人達と一緒に見た花火で、一生忘れられない思い出になりました。

帰国後、中国語の習得が不十分だと感じ、長崎県日中親善協議会の中国語講座に通いました。講座では教え上手な徐静先生の下、小学生から高齢の方まで幅広い年齢層の方が学ばれていて、とても楽しい雰囲気です。

その後、今後の業務に活かすためにもっと中国語を勉強したいという気持ちが強くなり、公募に応募し2013年2月

から2年間、上海外国語大学へ語学留学派遣となりました。

上海外国語大学では、中国語や中国文化を中心とする授業を受けて語学習得に励むと共に、様々な国の20代の若者と触れ合うことができ、実りの多い留学生活になりました。特に仲良くなったのはインドネシアの華僑の友人達でしたが、インドネシアは華僑が経済を支配しているとも言われている国で、裕福な彼らの金銭感覚に驚かされることも度々ありました。しかし、礼節を持って人と接し、ユーモアがあって笑顔を絶やさず、前向きな性格からは多くのことを学びました。

中国で暮らして感じていたのは、日本メディアが報道する中国の姿が必ずしも本当の姿ではないということです。大使館で勤務していた際、10数人が門の前で小規模なデモを行い、特にトラブル等もなく1時間ほどで終わった事があったのですが、その映像が日本の報道機関のその日の昼のニュースで大きく報道されているのを見て、驚き、違和感を覚えたことがありました。

ぜひ皆さんには、日中のメディアの情報を鵜呑みにせず、実際に中国に行き、中国の方々と触れ合う中で、中国という広大な国への理解を深めていただきたいと思います。それに加え、多くの中国の方々に長崎に来ていただき、長崎の自然・文化の素晴らしさ、ありのままの日本人の姿を理解してもらおう事が相互理解のために最も有効な方法の一つだと思います。

4年間の中国生活で仕事や生活面で困ったとき、私は多くの中国人の友人に助けられ、支えられて乗り切ることができました。中国の格言で「受人滴水之恩、当似湧泉相報」という「一滴の水の恩を、湧き出る泉をもって報いる」という言葉がありますが、今後は少しでも恩返しできるよう、公私にわたり日中友好、長崎県と中国との友好・経済交流に携わっていければと思っています。



大学のクラスの友人達と

中国駐長崎総領事館開設 30 周年記念植樹式

2015年(平成27年)2月4日(水)立春の佳き日に、中国駐長崎総領事館において、橋口町自治会からの贈呈木(シダレザクラ)の植樹式が行われました。この植樹式は、中国駐長崎総領事館の開設30周年を祝い、地元の橋口町自治会の主催で行われたものです。

総領事館開設30周年の最初の記念行事が、自治会の皆様を始めとする関係者約30名が見守る中で執り行われ、心温まる植樹式となりました。式の後には、自治会と総領事館の皆様等で、シダレザクラの幼木を前に和やかに歓談が行われました。



シダレザクラの植樹式



橋口町自治会の皆様

※1985年(昭和60年)5月4日 中国駐長崎総領事館開設/旧長崎東急ホテル

湖北省太極拳代表団が来県

2015年(平成27年)2月23日(月)から26日(木)にかけて、太極拳発祥の地である湖北省武当山から武当武術協会じょうくしんの徐耀進副主席及び世界チャンピオンを含む太極拳指導者などが長崎県を訪問されました。

中村法道知事への表敬訪問をはじめ、長崎県と湖北省との友好交流の取組の一環として県内外太極拳団体への指導を行い交流を深めたほか、長崎ランタンフェスティバルでの演武披露を行いました。



中村法道知事との記念撮影(2月23日)



世界チャンピオンと県内太極拳団体との交流(2月24日)



ランタンフェスティバルでの演舞披露(2月25日)

西暦2015年(中国関係)行事表

行事名称 (旧暦月日)	新暦月日	摘要
春節 1月1日	2月19日(木)	中国正月
関聖帝君飛昇 1月13日	3月3日(火)	崇福寺関帝祭
元宵節 1月15日	3月5日(木)	新地町 燈籠祭 崇福寺 唐人屋敷
福德正神千秋 2月2日	3月21日(土)	唐人屋敷土神祭
観世音菩薩仏辰 2月19日	4月7日(火)	唐人屋敷観音祭
崇福寺 清明節	4月5日(日)	崇福寺展墓
国際墓地清明 3月2日	4月20日(月)	国際墓地展墓
天上聖母聖誕 3月23日	5月11日(月)	崇福寺媽祖祭 唐人屋敷媽祖祭
関聖帝君聖誕 6月24日	8月8日(土)	崇福寺関帝祭 唐人屋敷関帝祭
普度蘭盆勝会 7月26日・27日・28日	9月8日(火)・9月9日(水)・9月10日(木)	施餓鬼 (中国の盆)
大成至聖孔聖誕 9月28日	9月最終土曜 (9月26日)	孔子生誕2566周年祭
国慶節(66周年)	10月1日(木)	建国記念日

※長崎ランタンフェスティバル 2月19日(春節)～3月5日(元宵節)

※過九節 3月19日(木) (旧暦1月29日)

※中秋節 9月27日(日) (旧暦8月15日)

提供：三山公幫 (公財) 長崎孔子廟中国歴代博物館

長崎
月曜日
金曜日
上海
(浦東空港)

13:00発 ←<MU520便>→ 13:35着
 12:10着 ←<MU519便>← 9:40発
 (すべて現地時間での表示)

中国東方航空長崎支店

■ご予約・お問い合わせは
 〒850-0033 長崎市万才町7-1 住友生命ビル4階
 TEL 095(828)1510・FAX 095(828)2539

そのお客様だけの上質で価値ある旅を。
 ご宿泊から各種パーティー・会議・ご会食まで、それぞれの場面にふさわしい
 心あたたまるおもてなしでお迎え致します。

ANAクラウンプラザホテル長崎グラバーヒル
 〒850-0931 長崎市南山手町1-18
 Tel 095-818-6601
www.anacrowneplaza-nagasaki.jp

ANA
CROWNE PLAZA
NAGASAKI GLOVERHILL

平成27年度新規会員募集

長崎県日中親善協議会は、日本国と中華人民共和国との親善を図り、平等互惠の上に相互の文化交流、経済提携を促進し、世界の平和と繁栄に寄与することを目的として、昭和48年5月に設立されました。

友好交流事業の主なものは、中国人の墓地清掃、中国人留学生及び研修員の交歓会、中国語コンクール、中国語講座の開催等を行っております。

当協議会の主旨に賛同される方を広く募集いたします。会員になられた方々には「協議会ニュース」の送付、協議会主催の催しものなどのご案内をいたします。

年会費 個人会費 3,000円
 法人会費 1口 10,000円です。

また、4月初旬には、平成27年度中国語講座を開講いたします。受講生募集中です。クラスは、はじめての方の入門、少し慣れた方の初級、中国語での会話ができる方の中上級の3クラスです。お問い合わせは当協議会まで

平成26年10月1日付

事務局紹介

事務局 長 (文化観光物産局国際課課長)	荒田 忠幸
事務局 次長 (// 国際課総括課長補佐)	谷口 俊範
事務局 書記 (// 国際課課長補佐)	有吉佳代子
// (// 国際課係長)	平尾 順平
// (// 国際課主任主事)	平山百合子
// (// 国際課主任主事)	坂庭 雅史
// (// 国際課主事)	森 理華
// (長崎県日中親善協議会 書記)	大坪 優子
// (//)	徐 静